

別紙

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

カイハラ産業株式会社 三和工場

(2) 事業所の所在地

広島県 神石郡 神石高原町 上 1333-1

(3) 業種

綿・スフ織物業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成28（2016）年度を基準年度とし、平成29（2017）年度から平成33（2021）年度までの5年間とする

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量(a)	目標年度 上段：見込量(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO ₂							
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
温室効果ガス 実排出量総計							
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：換算生産量 百万 m³

温室効果ガスの種類	基準年度の実績(a)	目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成28年度	平成33年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
エネルギー 起源CO ₂	261.7	248.6 5.0	245.6 6.16	261.1 0.21			
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
温室効果ガス 総排出量	261.7	248.6 5.0	245.6 6.16	261.1 0.21			
エネルギー消費原 単位 (原油換算kl)	94.34	89.62 5.0	89.42 5.21	96.75 -2.56			
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	・ボイラの燃料転換率を1%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロー率の低減 ・負荷率改善 ・ボイラ蒸気圧力の低減 ・ドレン回収率の向上による給水温度の上昇
2		・ボイラ効率を1%向上	<ul style="list-style-type: none"> ・空気比の適正化 ・ボイラ及び配管の保温の徹底化 ・温室効果ガスの排出の少ない燃料を使用（液化石油ガス）
3	エネルギー原単位	・エネルギー原単位を5%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・空調最適運転管理 ・エアリークの計測及び修繕 ・電動機制御の適正化、インバータ化
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
	廃棄物排出削減	・コピー用紙5%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・コピー用紙裏面再利用 ・プロジェクタの使用で資料の削減
	リサイクル率向上	・廃棄物リサイクル率5%向上	<ul style="list-style-type: none"> ・紙ゴミの再資源化 ・新規リサイクル業者の調査・開拓
	清掃奉仕	・1回/年以上目標	<ul style="list-style-type: none"> ・工場周辺の清掃奉仕

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。